

令和7年度 農作物病虫害発生予察5月月報

令和7年(2025年)6月2日
山口県病虫害防除所

I 気象概況

アメダス山口県山口地点

月・半旬	気 温 (°C)								
	平 均			最 高			最 低		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
5.1	16.6	17.3	△ 0.7	23.2	23.4	△ 0.2	9.8	11.4	△ 1.6
5.2	17.2	18.0	△ 0.8	22.3	24.0	△ 1.7	12.7	12.2	0.5
5.3	18.3	18.5	△ 0.2	24.8	24.5	0.3	12.2	12.7	△ 0.5
5.4	21.5	19.1	2.4	27.0	25.1	1.9	16.8	13.4	3.4
5.5	19.8	19.8	0.0	23.6	25.7	△ 2.1	16.8	14.2	2.6
5.6	18.7	20.5	△ 1.8	25.4	26.3	△ 0.9	13.1	15.1	△ 2.0
平均・計	18.7	18.9	△ 0.2	24.4	24.8	△ 0.5	13.6	13.2	0.4
月・半旬	降水量(mm)			日照時間(h)					
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差			
5.1	36.0	11.4	24.6	45.2	32.5	12.7			
5.2	95.0	12.2	82.8	31.4	32.5	△ 1.1			
5.3	0.0	12.7	△ 12.7	40.6	33.0	7.6			
5.4	68.0	13.4	54.6	23.1	34.0	△ 10.9			
5.5	123.5	14.2	109.3	13.0	34.0	△ 21.0			
5.6	0.0	15.1	△ 15.1	41.0	38.7	2.3			
平均・計	322.5	79.0	243.5	194.3	204.7	△ 10.4			

II 作物の生育状況

- (1) コムギ : 穂数は、平年に比べ平年並～やや少なく、成熟期は平年に比べて1週間程度遅い見込み。
- (2) カンキツ : 開花は平年並みから遅い産地が多く、着花量は産地や品種でばらつきはあるが、全体的に表年傾向で、昨年よりも多い見込み。
- (3) ナシ : 着果状況は概ね良好である。一部の産地で降雹等による幼果の傷が散見される。

Ⅲ 病害虫の発生状況

1 普通作物

2025年5月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)																		
イネ いもち病 (苗いもち) もみ枯細菌病 (苗腐敗症) ばか苗病 苗立枯病	下旬の共同育苗施設(26施設)の聞き取り調査では、下表のとおりであった。 表 共同育苗施設の聞き取り調査結果 <table><tr><th rowspan="2">病害名</th><th colspan="2">発生施設率 (%)</th></tr><tr><th>本年</th><th>平年</th></tr><tr><td>いもち病</td><td>3.8</td><td>1.6</td></tr><tr><td>もみ枯細菌病</td><td>7.7</td><td>1.5</td></tr><tr><td>ばか苗病</td><td>0</td><td>1.1</td></tr><tr><td>苗立枯病</td><td>7.7</td><td>1.5</td></tr></table>	病害名	発生施設率 (%)		本年	平年	いもち病	3.8	1.6	もみ枯細菌病	7.7	1.5	ばか苗病	0	1.1	苗立枯病	7.7	1.5	—	—	
病害名	発生施設率 (%)																				
	本年	平年																			
いもち病	3.8	1.6																			
もみ枯細菌病	7.7	1.5																			
ばか苗病	0	1.1																			
苗立枯病	7.7	1.5																			
セジロウンカ	4月1日～5月27日の予察灯(県内3か所) および5月19日～5月29日のネットトラップ(防府市牟礼) において確認されなかった(平年初確認日5月30日)。	県内全域	—																		
トビイロウンカ	4月1日～5月27日の予察灯(県内3か所) および5月19日～5月29日のネットトラップ(防府市牟礼) において確認されなかった(平年初確認日6月18日)。	県内全域	—																		
ヒメトビウンカ (調査ほ場数:17)	下旬のコムギの20回すくい取り調査では、成幼虫数63.5頭(平年77.0頭)で平年並みであった。	県内全域	—																		
ニカメイガ	4月1日～5月27日の予察灯(県内3か所)では確認されず、平年並みであった。	—	—																		
イネミズゾウムシ	4月1日～5月27日の予察灯(県内3か所)の誘殺数は6頭(平年12.4頭)で平年並みであった。明確な成虫誘殺ピークは認められなかった。	県内全域	—																		
コムギ (調査ほ場数:17) 赤かび病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平年24.1%)、発病穂率0%(平年0.6%)で平年に比べ少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率41.8%(平年38.8%)、発病穂率0.5%(平年1.3%)で平年並みであった。	県内全域	少	675																	
黒節病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平年5.5%)、発病茎率0%(平年0.3%)で平年並みであった。	—	—																		
うどんこ病 (調査ほ場数:中旬17、下旬11)	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平年1.8%)、発病葉率0%(平年0.4%)で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率9.1%(平年1.9%)、発病葉率1.3%(平年0.8%)で平年に比べやや多かった。	県内全域	少	96																	

2025年5月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
コムギ 黄斑病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率58.8% (平年38.9%)、発病茎率24.9% (平年29.8%) で平年に比べやや多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率81.8% (平年10.5%)、発病茎率32.0% (平年5.8%) で平年に比べやや多かった。	県内全域	少 964
縞萎縮病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率11.7% (平年2.5%)、発病茎率1.4% (平年0.5%) で平年に比べやや多かった。	県内全域	多 96 少 96 計 192

2 果樹

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
カンキツ (調査ほ場数:19) かいよう病	下旬の巡回調査では、新葉での発生ほ場率5.3% (平年2.1%)、発病葉率0.1% (平年0.1%)、発病度0.0 (平年0.0) でやや多かった。	県内全域	少 54
そうか病	下旬の巡回調査では、新葉での発生ほ場率15.8% (平年5.3%)、発病葉率0.7% (平年0.1%)、発病度0.1 (平年0.0) で平年に比べ多かった。	県内全域	少 161
灰色かび病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率42.1% (平年31.6%)、発病花率0.6% (平年1.7%) でやや多かった。	県内全域	中 54 少 376 計 430
ミカンハダニ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年13.1%)、寄生葉率0% (平年2.1%) で平年に比べ少なかった。	—	—
アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率31.6% (平年26.8%)、寄生新梢率4.9% (平年1.2%) で平年に比べやや多かった。主要種はワタアブラムシであった。	県内全域	甚 54 多 54 中 54 少 161 計 323
ナシ (調査ほ場数:15) 黒斑病 (二十世紀ほ場数:9)	下旬の巡回調査では、発生ほ場率44.4% (平年0%)、発病葉率1.2% (平年0%)、発病新梢率0.3% (平年0%) で平年に比べ多かった。	県内全域	少 27
黒星病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率6.7% (平年8.7%)、発病葉率0.2% (平年0.2%) で平年並みであった。	県内全域	少 8
赤星病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年7.3%)、発病葉率0% (平年0.4%) で平年に比べ少なかった。	—	—

2025年5月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
ナシ アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率6.7%(平年20.7%)、寄生新梢率0.2%(平年0.8%)で平年に比べやや少なかった。主要種はワタアブラムシであった。	県内全域	少 8
ハダニ類	下旬の巡回調査では発生ほ場率0%(平年5.3%)、寄生葉率0%(平年0.1%)で平年並みであった。	—	—
ニセナシサビダニ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平年6.7%)、被害新梢率0%(平年1.8%)で平年並みであった。	—	—
チュウゴクナシ キジラミ	下旬の巡回調査では発生ほ場率0%(平年1.3%)、寄生葉率0%(平年0.0%)で平年並みであった。	—	—
ナシヒメシンクイ	4月26日～5月25日のフェロモントラップ(萩市小川)の誘殺数は8頭(平年8.3頭)で平年並みであった。	県内全域	—
キウイフルーツ (調査ほ場数:3) かいよう病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3%(平年33.3%)、発病葉率0.4%(平年3.5%)であった。	下関市	少 1
果樹全般 カメムシ類 (チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ)	4月26日～5月25日の予察灯(県内3か所)の誘殺数は17頭(平年88.5頭)で平年並みであった。 5月1日～25日のフェロモントラップ(県内4か所)のチャバネアオカメムシの誘殺数は38頭(平年272.0頭)で平年に比べやや少なかった。	県内全域	—

3 野菜

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
タマネギ (調査ほ場数:19) べと病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率21.1%(平年54.0%)、発病株率10.6%(平年29.3%)で平年に比べ少なかった。	県内全域	甚 6 多 12 少 6 計 24
白色疫病	中旬の巡回調査では、発生は認められず平年並みであった。	—	—
腐敗病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平年14.1%)、発病株率0%(平年0.8%)で平年に比べ少なかった。	—	—
軟腐病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平年0.6%)、発病株率0%(平年0.0%)で平年並みであった。	—	—

2025年5月

病虫害名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
タマネギ さび病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%（平年0.6%）、発病株率0%（平年0.0%）、発病度0（平年0.0）で平年並みであった。	—	—
ボトリチス属菌による葉枯れ症（白斑葉枯病）	中旬の巡回調査では、発生は認められず平年並みであった。	—	—
萎黄病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率5.3%（平年0%）、発病株率0.1%（平年0%）で平年に比べ多かった。	県内全域	少 6
ネギアザミウマ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率47.4%（平年43.1%）で平年並みであった。	県内全域	少 53

お問い合わせ先
山口県病虫害防除所
TEL (0835) 28-1211(代)
E-mail a172011@pref.yamaguchi.lg.jp